

北海道総合計画の見直しのポイント

1. 見直しの考え方

- 新型コロナウイルス感染症による道政の推進への大きな影響
- 北海道のハンディとされていた地域特性の新たな価値への転換
- デジタル・トランスフォーメーション（DX）や脱炭素化など、社会変革の兆し

○ こうした変化に対応し、「輝きつづける北海道」を実現するためには、現行の政策の位置づけの明確化や、新たな課題への対応など、**政策展開を図るための方向性を明らかにする**必要。

○ **ポストコロナを見据えた中期的な推進方向**を総合計画に明記する。

① 危機に対する強靱な社会の構築

様々な危機に対する脆弱性を克服し、弾力的に対応できる強靱で柔軟な社会の構築

② 北海道の真価の発揮

ハンディの強みへの転換や、食・観光の価値の更なる向上等、北海道の真価の最大限の発揮

③ 社会の変革への挑戦

気候変動問題をはじめとする世界的な課題への取組など、コロナ以前への回帰を越えて、社会変革に挑戦

○ **政策展開の基本方向（政策体系）**について必要な見直しを行うとともに、**記述内容・掲載データのアップデート**を行う。

2. 見直し内容

○ 「時代の潮流と北海道」（社会経済情勢の概要）の中に、**新型コロナウイルス感染症の影響についての項目を新たに設けるとともに、記述・データ（人口・経済指標など）を更新**【現計画2章ほか】

○ 「めざす姿」、「7つの将来像」は修正しない【現計画2章】

○ 「中期的な推進方向」について新たに章を設けて明記

○ 「中期的な推進方向」に基づき、**政策展開の基本方向を追加・修正**【現計画第3章】

○ **地域におけるこれまでの取組の成果や課題を踏まえた修正**【現計画第4章】

資料7

○ **重点戦略計画に「北海道Society5.0推進計画」及び「北海道地球温暖化対策推進計画（第3次）」を追加**【現計画第5章】

資料5

資料6

○ 毎年度ローリングする形を検討【現計画第5章】

○ 政策の柱とSDGsの17のゴールの関係を明記【現計画第3章】